



一般社団法人日本スーパーマーケット協会

平成30年11月 マンスリー レポート

集計企業数 55 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	55,492,216 万円	100.0%	99.5% (101.6%)	53,809,731 万円	98.2% (100.3%)
食 料 品	46,892,684 万円	84.5% (85.4%)	100.0% (102.4%)	45,375,302 万円	98.6% (100.9%)
農 産	6,917,682 万円	12.5% (13.5%)	101.2% (109.8%)	6,699,345 万円	99.8% (108.3%)
水 産	4,229,882 万円	7.6% (7.6%)	99.0% (102.6%)	4,093,276 万円	97.6% (101.0%)
畜 産	6,212,878 万円	11.2% (11.0%)	98.1% (98.3%)	6,002,932 万円	96.6% (96.8%)
惣 菜	5,405,878 万円	9.7% (9.9%)	102.3% (105.3%)	5,212,328 万円	100.5% (103.3%)
日配食品	10,549,792 万円	19.0% (19.4%)	99.6% (101.2%)	10,209,341 万円	98.2% (99.8%)
加工食品	13,576,570 万円	24.5% (24.0%)	100.0% (100.2%)	13,158,081 万円	98.7% (98.8%)
生活関連	3,498,113 万円	6.3% (6.2%)	97.7% (99.9%)	3,428,136 万円	97.2% (99.5%)
衣 料 品	1,779,560 万円	3.2% (2.9%)	93.0% (94.5%)	1,759,132 万円	93.5% (95.0%)
そ の 他	3,321,860 万円	6.0% (5.5%)	98.5% (96.2%)	3,247,162 万円	97.4% (95.7%)

② 数 値

全店総売上高	55,492,216 万円	店 舗 数	4,758 店舗
総売場面積	9,652,684.6 m ²	総従業員数	250,074 人

店舗平均月商	11,662.9 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,881.7 円 (99.7%)
月間m ² 売上(前月)	5.7 万円 (5.9 万円)	平均店舗面積	2,028.7 m ²
月間坪売上(前月)	19.0 万円 (19.7 万円)	パート比率(前月)	76.9% (76.7%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 11月の天候について、全国的に高気圧に覆われた日が多く、晴れた日が多かった。平均気温は全国的に概ね高く、東京では39年ぶりに「木枯らし1号」が観測されなかった
- ・ 生鮮品の相場状況について、青果では野菜価格が高値傾向から一転、安値となった。水産物は、入荷量・卸売平均価格ともに前年並みであった。畜産物では和牛が高値で推移した一方、国産の豚肉と鶏肉の「むね肉」が前月同様に安値で推移した
- ・ 前年同月と比較して金曜日が1回多く、水曜日が1回少ない曜日廻りで、土・日・祝日の休日日数が、1日少なかった

《 商品動向 》

・ 農産

- ・ テレビ番組で紹介された放映効果により「舞茸」と「みかん」が好調となった
- ・ 気温環境により「トマト」「きゅうり」などのサラダ関連野菜が好調となった
- ・ 「ほうれん草」や「にんじん」「玉ねぎ」の売上が好調となった
- ・ 「白菜」「大根」「レタス」「キャベツ」などの重量野菜は、気温環境による鍋物商材の不振や、相場安による単価の下落により不調となった
- ・ 国産果実では「みかん」は概ね好調となった一方、「柿」「リンゴ」「梨」は不調となった
- ・ 輸入果実では「キウイフルーツ」が好調となった

・ 水産

- ・ 気温環境により刺身が好調となった一方、「ブリ」「タラ」や「生かき」などの鍋物商材は不調となった
- ・ 前年不漁の反動により「サンマ」が好調となった

・ 畜産

- ・ 気温環境や、相場安による単価の下落により、「豚のうす切り」や「鶏の切り身」などの鍋物商材が不調となった

・ 惣菜

- ・ 米飯類では「幕の内弁当」「おにぎり」「握り寿司」が好調、揚げ物類では「カキフライ」「コロッケ」が好調となった
- ・ 今まで好調であった魚惣菜が不調とのコメントがみられた

- ・ 日配・加工食品

- ・ テレビ番組で紹介された放映効果により、「カニかま」などの練り製品や「アマニ油」「オリーブオイル」などの食用油、「凍り豆腐（高野豆腐）」などの農産乾物が好調、その他「サバ缶」や「納豆」「漬物」も引き続き好調となった
- ・ 気温環境により、「こんにゃく」「豆腐」「チルド麺」「鍋つゆ」などの鍋物商材や、「カレー・シチュー」「スープ類」「コーヒー・お茶」などのホット商材が不調となった
- ・ 「機能性ヨーグルト」など「ヨーグルト」が不調となった

- ・ ボジョレーヌーヴォーの動向について

- ・ 予約販売、当日販売ともに苦戦をしたが、チーズやスモークサーモン、ピザなどの関連商品の動きは良かったとのコメントがみられた
- ・ 企業によってはダウントレンドのマーケットとして捉え、販売点数目標を前年割れの数量に設定することにより、ボジョレーヌーヴォーの消化率を高めたとのコメントがみられた

- ・ ブラックフライデーの動向について

- ・ 食品スーパーマーケットでの取組み事例はまだ多くはないが、黒にちなんだ商品の販売や日替り商品の価格を強化するなど、徐々にマーケットとして広がりを見せ始めている

以 上